2026 年 9 月　ver.1.2

研究課題名	**真菌血症の検出菌における抗真菌薬感受性サーベイランス** **―公益社団法人日本化学療法学会―**
研究の意義・目的	真菌（カビ）は血流感染症（血液から菌が検出される感染症）の検出の頻度として上位を占めています。更に、死亡率も高いことが報告されていますので、予後の改善には、よく効く抗真菌薬を投与することが必要です。ただし、真菌の種類によっては、効く抗真菌が異なることもあるため、真菌に対する抗真菌薬の感受性（どれぐらい効くのか）を把握することは適正な治療をする上で必要不可欠です。 しかし、今のところ、全国的規模で血液から検出された真菌に対する抗真菌薬の感受性調査は行われたことがありません。そこで、今回、公益社団法人日本化学療法学会と協力して、血液から検出された真菌の感受性を日本の多くの施設で調査します。本研究で得られる知見は、今後真菌血症の患者様に対して、適正な抗真菌薬を選択する一つの指標となると考えます。 具体的には診療の過程で得られた血液から検出された真菌と診療情報（性別、年齢、診療科、過去の抗真菌薬の投与歴）を千葉大学真菌医学研究センター臨床感染症分野に郵送します。診療情報は、誰のデータか分からないように加工した（匿名化といいます）上で、統計的処理を行います。国が定めた「人を対象とする生命科学・医学系研究に関する倫理指針」に則って、個人情報を厳重に保護し、研究結果の発表に際しても、個人が特定されない形で行います。
研究を行う期間	機関の長の実施許可日～2029 年 12 月 31 日
研究協力をお願いしたい方（対象者）	2023 年 1 月 1 日～2024 年 12 月 31 日に下記の研究機関で血液から真菌が検出された方が対象となります。
協力をお願いしたい内容と研究に使わせていただく試料・情報等の項目	診療の過程で得られた下記項目を本研究に使用させてください。 診療情報：血液から検出された真菌、性別、年齢、診療科、過去の抗真菌薬の投与歴
試料・情報の提供を行う機関の名称及びその長の氏名（提供元について）	機関名：公立大学法人大阪 大阪公立大学 機関の長の氏名：理事長 福島 伸一
提供する試料・情報の取得の方法	診療の過程で得られた診療情報と真菌
提供する試料・情報を用いる研究に係る研究責任者	研究代表者：大阪公立大学医学部附属病院　臨床感染制御学　掛屋　弘

試料・情報を利用する者の範囲および管理について責任を有する者の研究機関の名称	【研究代表者】 大阪公立大学医学部附属病院　臨床感染制御学、掛屋　弘 【共同研究機関・研究責任者】 千葉大学　真菌医学研究センター、渡辺 哲 宮崎大学医学部　内科学講座 呼吸器・膠原病・感染症・脳神経内科学分野、宮崎 泰可 兵庫医科大学　感染制御学、中嶋 一彦 札幌医科大学附属病院　医学部感染制御・臨床検査医学講座、高橋　聡 岩手医科大学　臨床検査医学・感染症学講座、仲村　究 東北大学病院　総合感染症科、吉田　美智子 新潟大学　呼吸器・感染症内科学分野、青木　信将 埼玉医科大学　感染症科・感染制御科、樽本　憲人 埼玉医科大学国際医療センター　感染症科・感染制御科、光武　耕太郎 国立健康危機管理研究機構　国際感染症センター、山元　佳 東邦大学医療センター大橋病院　外科、渡邉　学 東京慈恵会医科大学　内科学講座感染症内科、堀野　哲也 昭和医科大学病院　感染症内科、時松　一成 富山大学附属病院　感染症科、山本　善裕 金沢医科大学　臨床感染症学、飯沼　由嗣 金沢大学附属病院　感染制御部、金森　肇 浜松医科大学附属病院　小児科、宮入　烈 京都大学大学院　医学研究科　臨床病態検査学、長尾　美紀 近畿大学病院　安全管理センター感染対策部、吉田　耕一郎 大阪大学医学部附属病院　感染制御部、砂田　淳子 関西医科大学附属病院　感染制御部、宮下　修行 島根大学医学部　泌尿器科学講座、和田　耕一郎 川崎医科大学附属病院　臨床感染症科、大石　智洋 広島大学　病院感染症科、大毛　宏喜 山口大学医学部附属病院　感染制御部、枝國　信貴 高知大学医学部　臨床感染症学講座、山岸　由佳 産業医科大学医学部　呼吸器内科学、矢寺　和博 福岡大学病院　腫瘍血液感染症内科、髙田　徹 九州大学病院　グローバル感染症センター、三宅　典子 佐賀大学医学部附属病院　感染制御部、的野　多加志 長崎大学大学院　医歯薬学総合研究科　病態解析・診断学、栁原　克紀 大分大学医学部附属病院　感染制御部、平松　和史 鹿児島大学病院　感染制御部、川村　英樹 【委託先】千葉大学真菌医学研究センター 業務内容：菌種同定・薬剤感受性測定および解析、報告書等作成
個人情報の取り扱い	この研究にご参加いただいた場合、あなたから提供された診療情報などのこの研究に関するデータや血液培養から検出された真菌は、すぐには個人を特定できない形

	式に記号化した番号により管理されます。 この研究から得られた結果が、学会や医学雑誌などで公表されることはあります。このような場合にも、あなたのお名前など個人情報に関することは含まない形で公表されます。
本研究の 利益相反	利益相反の状況については研究者等が利益相反マネジメント委員会に報告し、その指示を受けて適切に管理します。 公益社団法人日本化学療法学会より受けた資金を使用して研究を行います。
研究に協力を したくない場合	診療情報が当該研究に用いられることについてご了承いただけない場合には研究対象としませんので、下記の連絡先までお申出ください。その場合でも不利益を受けることはありません。
連絡先	大阪公立大学医学部附属病院　臨床感染制御学 担当者氏名：掛屋　弘 電話番号：（06）6645-3784 メールアドレス：kakeya@omu.ac.jp